

たびだ ～旅立ち～

立春を迎え、もうすぐ卒業や就職など旅立ちの季節。不安や希望を抱きながら、この春、新たなステージへ旅立つ皆さんへ、手に取ってほしい本を紹介しします。

一般書

児童書

「働く」ために必要なこと
就労不安定にならないために



筑摩書房
品川裕香 著
せっかく就職したのに3年以内に離職する人、約30%。経験者扱いもされず、正規採用への道は困難だ。それなのに、働きつづけられないのはなぜなのか。就労支援の現場から、事例を交えて「働く」ために必要なことを考える。

きみの行く道



河出書房新社
ドクター・スース 作・絵
いとうひろみ 訳
おめでとう。今日という日は、きみのためにある。外の世界に向かって、きみはいま、出て行こうとしているんです…。子どもから大人まで、年齢を問わず新しい一歩を踏み出そうとするすべての人へ贈る絵本。

ひとり暮らしで知りたいことが全部のってる本



主婦の友社
主婦の友社 編
部屋探しや引っ越し、インテリアや収納、家事やお金の管理術、防災や防犯、住まいのトラブルの対処法まで、ひとり暮らしをする人が知りたい情報をまとめて紹介する。ひとり暮らしの先輩のアドバイスも収録。

あなたがおとなになったとき



講談社
湯本香樹実 文
はたこうしろう 絵
あなたがおとなになったとき、どんな歌がすきだろう。子どもたちに問いかけることばで紡いでいくメッセージ。新しい世界の扉の前に立ち、不安な思いや複雑な心を抱えている子どもたちを少しだけ支えてくれる絵本。

少女は卒業しない



集英社
朝井リョウ 著
廃校が決まった地方の高校での最後の卒業式。この「さよなら」は、きっと世界の扉をひらく。恋愛、友情、将来の夢、後悔、成長、希望など、青春のすべてを詰め込んだ連作短編集。

たくさんのドア



主婦の友社
アリスン・マギー 文 ユ・テウン 絵
なかがわちひろ 訳
子どもたちの前にならぶ未来へのドア。あけるのが待ちきれないドア、すっとひらくドア、重たくてきしむドア。その向こうに広がっているのは…。新しい世界への扉をあけようとしているすべての人に贈る絵本。

❖土・日曜日に「よみきかせ」を行っています

開催時間

曜日 時間	土曜日					日曜日 第2
	第1	第2	第3	第4	第5	
10:30	●	●	●	●	●	
11:00						●
14:00				●		
14:30	●					

ところ 市民図書館 多目的研修室

内容 絵本の読み聞かせ、紙芝居の上演など
(各回30分程度)

※事前の申し込みは不要です。

❖毎月第4日曜日は「十和田市家庭読書の日」

市民図書館では、家庭読書にお勧めする本のコーナーを設置しています。毎月第4日曜日は、テレビやゲーム、インターネットをちょっとお休みして、家族で読書を楽しんでみませんか。

- 各コミュニティセンターでも、新しい本を用意していますので、気軽にご利用ください。
- 市民図書館では、法令や判例、法関連の文献情報などを検索できるデータベースが利用できます。詳しくはお問い合わせください。